

夢 塾 だ よ り

～ 平成 という 時代 ～ (第18号)

平成 30 年 12 月 28 日



その年の世相を漢字一文字で表す「今年の漢字」に選ばれたのは「災」。北海道東部地震、大阪府北部地震、島根県西部地震、西日本豪雨、台風 21 号、24 号の直撃など、自然災害の多発した年でした。被災地の復興も進まない中、平成が終わります。

「災難にあう」というと、思い出す言葉があります。それは名僧の良寛さん。

『災難に逢う時節には災難に逢うがよく候。・・・・これはこれ災難をのがれる妙法にて候』と。災難は、私たちの力ではどうすることもできない。ならば、それらを受け入れて生きること。不運が続き、大災害に逢った時、そのことを「災難」としか捉えられないなら、不幸を嘆いて生きて行くしかない。そういう生き方より、あるがままを受け入れ、自分ができることを一生懸命にきなさい。との教えだと思います。しかし、私は弱い人間なので良寛さんの教えのようにはいきそうもありません。だから時折その言葉を思い出すのです。

平成は私にとってはいい時代でした。元年に長女が生まれ、英検 2 級に受かり、2 年には教員採用試験に合格。3 年には次女を授かり、4 年から県立石川高校を皮切りに教員生活に入りました。5 年には家を建て、11 年には NHK の「ハネケンはかせのアットホームコンサート」でピアノ演奏。全国放送ですから生涯で最も緊張した瞬間でした。15 年には筑波の教員研修センターで約 1 月間の研修をする機会に恵まれ、県外にたくさんの友人ができました。今でも交友は続いています。その年に教頭試験にも合格し、17 年から 5 年間教育庁県立学校教育課で行政経験を積ませてもらい、22 年に県立読谷高校の校長を拝命。25 年に県立宜野座高校、26 年から 2 年間、那覇国際高校で教職員としての最後の勤めをしました。その年に息子は数学の教員採用試験に合格し、3 年目の教師生活を送っています。28 年夢塾を創設。塾生は素晴らしい日々と貴重な時間、やりがいと生きがいを私に与えてくれます。

新しい年の元号は何になるのでしょうか。明治は「ま」行、大正は「た」行、昭和は「さ」行、平成は「は」行ときているので、残るは「か」「な」「ら」行で漢字 2 文字でしょう。でも私の希望は「泰世」(たいよ) 世界安泰の希望を込めて。

くる年が皆様にとりまして、今年よりもいい年になることを祈願します。